

## 新教科「課題研究への誘い」

### ■4年：「社会科学分野」

#### (1) 科目の概要

この科目には2つの特徴がある。1つ目は、クリティカルシンキングの実践である。社会を分析するために必要な知識や技能を身につけ、経済学などの社会諸科学の見方・考え方を活用して現代社会を読み解いていく学習や、過去の事例と現在の事例を比較検討し、過去に学び現代を考える学習を設定し、事象・出来事について「なぜ～なのか」「～するとどうなるか」と問い、様々な資料を吟味・検証し、事象・出来事を論理的に説明できる社会の見方・考え方を獲得させる。2つ目は、「答えのない問いに挑む」である。「課題研究」における「課題」とは、まだ解答が明確になっておらず議論が続いている課題である。解答が明確になっていない根本原因は、利害対立が解消されていないことにあり、その利害はそれぞれ一定以上の正当性をもつからである。そこで、様々な社会問題について利害関係の当事者を想定し、各立場にはどのような正当性があるのかを互いに理解しつつ、妥協点を探る学習を設定する。

#### (2) 「課題研究への誘い 社会科学分野」の目標

様々な資料を吟味・検証し、事象・出来事を論理的に説明できる社会の見方・考え方を獲得させ、クリティカルシンキングを通じて、社会を説明できる見方・考え方を精緻にする。  
現代社会の諸問題についての認識を深め、利害関係の当事者を想定し、相互理解をすすめ妥協点を探り合意形成の素地を養う。

#### (3) ねらいとする能力・態度

- ・社会の中で過去に起こった出来事・現象や、現在起こっている出来事・現象の原因や結果を、資料を吟味・批判して経済学・政治学・社会学などの理論をもとに説明できる能力
- ・他者の考えや行動を理解するとともに、他者と協力して妥協点や合意を探る能力

#### (4) 授業展開及び教材の工夫

- ・データの収集、まとめ方、考察のしかたといった研究の手法を身につけさせる。
- ・研究の手法を習得した上で、具体的な社会問題について考察し、未来予測に関する仮説・データをもとに社会問題の解決策をまとめ、検証する。
- ・通時的な思考を重視する。まず日本経済史に関する諸事象を経済理論などを用いて読み解き、過去に課題・社会問題とされたことがどのようにして克服されてきたのかを考え、そこから導き出された仮説・見地を用いて現代の課題・社会問題を考えるという学習方法を採用する。
- ・ロールプレイなどの手法を取り入れるが、現実に行われている議論の縮小版模倣にならないように工夫する。

#### (5) 学習指導要領との関係

学習指導要領改訂に際し現代社会については、現代社会の諸課題を取り上げて、人間としての在り方生き方についての学習や、議論などを通して課題追及的な学習を一層重視することが進められた。基本的にはこの方針に沿っている。

ただし、扱うべき内容として、「ア青年期と自己の形成」「イ現代の民主政治と政治参加の意義」「ウ個人の尊重と法の支配」「エ現代の経済社会と経済活動の在り方」「オ国際社会の動向と日本の果たすべき役割」の5項目が挙げられているが、「エ現代の経済社会と経済活動の在り方」に示されてい

る内容を主に取り上げ、必要に応じて他の領域の内容も取り上げる。

「3内容の取り扱い」については、基本的な見方・考え方や現代の諸制度や諸問題について触れるようになっているが、ここをさらに深化させ、基本的な見方・考え方を応用させたさまざまな仮説を用いて、現代の諸制度および諸問題について批判的に検討し、その問題点を明らかにしつつ問題の解決策を考えていくところまで踏み込む。また、自己の生き方にかかわって主体的に考察するように指示されているが、これをさらに広げて他者の生き方考え方も想定しながら他者とどのような関係を築くかという点を深化させる。

(6) 年間指導計画 (70時間扱い)

月	単元名	学習のテーマ・ねらい	学習の具体的な内容
4	・社会をみる視点 ・自由主義経済と価格メカニズム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済の基本問題について理解する。</li> <li>・自由主義経済の基本思想を理解する。</li> <li>・価格機構について理解し、物価や需要や供給の変化について考察する。</li> <li>・自由競争の意味と市場の失敗を理解し、市場経済の限界について考察する。</li> </ul>	希少性、トレードオフ、機会費用 アダム=スミス、ケインズの経済思想 需要と供給、均衡、インフレ・デフレ 価格の自動調節作用 市場の失敗、資源の適正配分
5	・国民所得と景気循環の理論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一国全体の経済の動きを分析する際の指標となる概念を理解する。</li> <li>・国民所得の概念を理解し、それを活用して豊かさについて考察する。</li> </ul>	GNIの4つの意味 景気の波、経済成長率
6	・貨幣と金融	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貨幣の役割について理解し、今後の「お金」のあり方について考察する。</li> <li>・金融のしくみと役割、中央銀行が行う金融政策について理解する。</li> <li>・金融の動向が社会に及ぼす大きな影響について理解する。</li> </ul>	貨幣の役割と機能 直接金融と間接金融、信用創造 中央銀行の役割 バブル経済、リーマンショックの原因とその影響
7	・財政の役割と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・租税の役割を理解する。</li> <li>・財政の役割を理解する。</li> </ul>	租税と歳入・歳出、国債 所得再分配、資源配分、景気調整機能
9	・社会の変化や社会問題の謎を解き明かすグループワーク1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現実に発生している社会問題について、それがなぜ発生したのか、どう解決すればよいかを、今まで学んだ内容を用いてグループで探求する。</li> <li>・世界中で発生した様々な事象から、今後の望ましい社会のあり方とは何かを考える材料を獲得する。</li> </ul>	<扱うテーマ> ・ベネズエラはなぜハイパーインフレーションに陥ったのか ・高度経済成長期は日本社会をどのように変化させ、現在、どのような問題につながっているかなど
10	貿易理論と外国為替システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自由貿易と保護貿易、FTAやEPAについて理解する。</li> <li>・外国為替のしくみについて理解する。</li> <li>・円高進行に伴って日本企業の海外進出が進んだことを理解し、現在の海外進出と比較研究する。</li> </ul>	国際貿易体制、比較優位論 加工貿易と水平貿易 円高、円安とその影響 産業の空洞化、逆輸入、労働の空洞化 市場のグローバル化とその課題
	・社会の変化や社会問題の謎を解き明かすグループワーク2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現実に発生している社会問題について、それがなぜ発生したのか、どう解決すればよいかを、今まで学んだ内容を用いてグループで探求する。</li> <li>・世界中で発生した様々な事象から、今後の望ましい社会のあり方とは何かを考える材料を獲得する。</li> </ul>	<扱うテーマ> ・比較生産費説シミュレーションとTPPの問題 ・原油価格の動向から読み解く、資源をめぐる世界各国の資源戦略 ・少子高齢社会の今、あるべき社会保障を国際的に制度比較しつつ考える
11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界中で発生した様々な事象から、今後の望ましい社会のあり方とは何かを考える材料を獲得する。</li> </ul>	・労働市場の国際化、非正規雇用の増加とワーキングプア
12		<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会問題については、どのような解決策が望ましいか、それはなぜなのかを</li> </ul>	

1		<p>グループで議論させ、倫理的な視点も含めつつまとめさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて議論の結果をプレゼンテーションする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食と農業の今後</li> <li>・観光立国という可能性</li> <li>・IoT 技術の発展や AI の進化がもたらす可能性と問題点</li> </ul>
2			<ul style="list-style-type: none"> <li>・「まち・ひと・しごと創生総合戦略」から、今後の「地域」を考える</li> </ul>
3			<ul style="list-style-type: none"> <li>・アマルティア＝センやロールズの正義論から、国際的な支援のあり方を考える</li> </ul>